

令和 6 年度 事業報告



社会福祉法人 心和会

めぐみの杜

<経営理念>

「社会・地域における福祉の発展・充実」を使命とする

- ①利用者一人ひとりの個性や特徴を大切にする
- ②身体的にも精神的にも家庭的な雰囲気の中での生活をめざす
- ③広く地域に開放し、地域に支えられた暖かな出会いとふれあいの場づくり

<行動方針>

- ①高齢者福祉施設として地域に貢献するとともに、地域社会との調整・交流を重視した事業の展開を図る。
- ②変動する社会および利用者個々の状態やニーズに即したサービス供給体制の確立を目指し、施設全体として、介護・サービスの質の向上に努める。
- ③職員の介護・福祉理念、対人援助技術の向上を図るとともに、一人ひとりが人としての豊かさ・人間力を高め、やりがいや楽しみを感じながら、互いに切磋琢磨し、ともに成長できる職場環境の構築に努める。

<特別養護老人ホームめぐみの杜 スローガン>

「将来の自分や家族が利用したい」と思える施設作りを目指します。

1. 総評

介護事業の運営は、物価高騰により大きなダメージを受けており、非常に厳しい状況にあります。このような状況の中、令和6年度は基本に立ち返り、目標課題にある入居者・利用者、地域の人材から選ばれる施設づくりを方針として、全てのスタッフが介護現場に携わるという組織が一体となった取り組みと、ご家族へ入居者の日常の様子を伝えること、信頼関係とサービスの向上に努めました。

課題の一つである人材確保では、入職者もありましたが退職者も多く、増員とはならず厳しい状況が続いており、外国人材に頼らざるを得ない状況にあります。全産業が労働者不足である現状、介護職を選択する人が際立って減少し、今後の人員確保が危惧されます。この人手不足という状況に対しては、間接的業務を介護ロボットの活用や活躍の場を創出して元気な高齢者の方に、介護補助職として参加してもらうなど多様な人材活用を行うことで業務負担の軽減を図ることができました。

今年度においても施設内で新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者が確認され、特に12月から1月にかけては、インフルエンザの感染者が拡大し、受診手配など対応に追われる事態となりました。

引き続き、感染症対応の見直しや訓練などを通じ、感染拡大の防止に取り組んでまいります。面会については、ご入居者のご家族が穏やかに過ごせる時間を大切にさせていただくという考えのもと、細かな制限を設けず、対面での面会を継続いたしました。

2. 入居者・利用者の状況

(1) 特別養護老人ホームめぐみの杜
利用定員 80名 稼働率97.9%

入居待機としてショートステイサービスを長期に利用される方へアナウンスを行い順次受け入れることで、空床期間の短縮に努めてまいりました。一方で想定外に退去者も多く、時期が重なったこともあり、新規入居者の受け入れに時間を要することもあった。この空床期間の影響もあり、目標としていた稼働率98%には届かなかった。今後も待機者の確保と入居に至るまでのスピード感が課題となる。退去理由として、施設で亡くなられた方以外では、医療依存度が高くなることにより、施設での生活を継続することが難しくなった方が多かった。今後も要介護度の高い入居者が増加していくと見込まれていることもあり、施設での医療体制の強化が課題になると考えられます。

令和6年度 稼働率と平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率	98.4%	99.7%	99.7%	99.4%	99.7%	98.8%	98.3%	97.4%	94.8%	94.4%	96.5%	97.2%	97.9%
平均介護度	4	4	4	4	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9

令和6年度 新規入居者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	0	1	1	1	0	1	0	2	1	1	2	11
女性	1	1	1	1	0	2	2	3	0	3	2	2	18
計	2	1	2	2	1	2	3	3	2	4	3	4	29

令和6年度 退去者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	5
女性	1	3	0	3	0	3	3	3	3	2	4	0	25
計	1	3	0	3	0	3	3	5	4	2	5	1	30

年齢・性別 (令和7年4月1日現在) (単位：人)

	65歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～99歳	100歳～	計
男性	0	0	2	4	8	0	0	14
女性	0	1	4	11	33	16	0	65
計	0	1	6	15	41	16	0	79

※平均年齢88.4歳（男性84.9歳/女性89.2歳）※性別構成比 男性13.3、女性86.7

要介護度別 (令和7年4月1日現在) (単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	計
男性	0	0	0	0	6	6	2	14
女性	0	0	0	0	25	27	13	65
計	0	0	0	0	31	33	15	79

(2) 短期入所生活介護
利用定員 20名 81.4%

認知症状など利用者層が多様化する中、様々なニーズに対応することが求められている。そのような中、事業所からの相談、受け入れの求めがあった案件についてはお断りすることなく、積極的に受け入れを行った。また、事業所訪問や電話連絡にて利用者の様子を随時に報告するなど、良好な関係作りに努め、目標値としていた稼働率80%以上を達成することができた。

令和6年度 稼働率と平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率	85.0%	84.7%	80.5%	81.6%	77.7%	79.7%	75.8%	80.2%	78.2%	82.4%	84.6%	86.1%	81.4%
平均介護度	2.5	2.6	2.7	2.6	2.4	2.6	2.6	2.4	2.6	2.6	2.8	2.7	2.6

令和6年度 利用実人数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	21	25	27	24	22	24	24	21	24	25	17	21
女性	26	34	25	38	40	40	34	39	35	42	33	39
計	47	59	52	62	62	64	58	60	59	67	50	60

令和6年度 要介護度別 構成比

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
構成比	1.1	0.2	17.9	29.5	28	19.6	3.8

性別構成比 男性28.9 女性71.1

(3) 地域密着型通所介護
利用定員 18名 稼働率80.7%

稼働率では前年実績73.4%を上回ることができた。前年同様に事業所内の行事、イベントの企画やボランティアの活用を積極的に行い、新たな楽しみと刺激になる取り組みを行った。結果、利用者の在宅生活継続と家族の就労支援を満たし地域との関わり・結びつきを大切にすることができた。

- ・ 集団訓練（音楽療法・シルバーリハビリ体操）
- ・ 生活リハビリ（縫物、切り絵など）
- ・ フラワーアレンジメント
- ・ 外出レク（あけぼの山公園、菊祭り）
- ・ 外食会
- ・ 夏祭り、運動会、クリスマス会



令和6年度 稼働率と平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率	83.3%	88.5%	84.0%	82.1%	83.3%	86.4%	85.6%	80.3%	73.3%	66.9%	78.2%	76.9%	80.7%
平均介護度	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6

令和6年度 要介護度別 構成比

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
構成比	5.3	10.7	40.0	16.0	10.7	6.7	5.3

年齢・性別（令和7年4月1日現在） (単位：人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	計
男性	0	0	1	4	5	4	14
女性	0	2	2	7	7	14	32
計	0	2	3	11	12	18	46

性別構成比 男性30.9 女性69.1

（４）居宅介護支援事業所

自分らしい暮らしの継続、自立支援を基本とし、ご利用者やご家族の意向、身体状況や生活状況の把握を行い、多種多様な事業者や関係機関との連携により居宅サービス計画を作成、より適切な対応ができるように努めてきました。取手市のケママネ連絡会主催の研修や会議などにも積極的に参加、他事業所のケアマネージャーとの情報交換や個々のスキルアップを図ることができた。

令和 6 年度 要介護度別 利用者数推移												(単位：人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1・2	14	13	13	12	12	11	9	6	6	7	7	8
要介護 1～5	57	59	63	67	64	66	43	42	47	49	49	52
計	71	72	76	79	76	77	52	48	53	56	56	60

3. 職員の状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在) 単位：人

	介護老人福祉施設 短期入所生活介護	地域密着型通所介護	居宅介護支援事業所
施設長（管理者）	1	—	—
管理者	—	1	1
【相談室】			
主任 相談員	1	—	—
相談員	2	—	—
相談員（通所介護）※兼務	—	2	—
介護支援専門員	1	—	1
【介護課】			
主任/副主任 介護職	2	—	—
介護職（常勤）	19	2	—
介護職（非常勤）	15	2	
介護補助職	7		
技能実習生（インドネシア）	4		
特定技能1号（インドネシア）	11		
ドライバー	1	2	—
【医務室】			
主任 看護師	1	—	—
看護師（常勤）	2	（特養と兼務）	
看護師（非常勤）	3		—
【栄養課】			
管理栄養士	1	—	—
【事務職】			
経理	1	—	—
総務	1	—	—
合計	73	7	2

有資格者状況（複数資格の所有者を含む）

介護福祉士	24
介護初任者研修修了	18
介護実務者研修修了	4
ホームヘルパー 1 級	0
ホームヘルパー 2 級	6
主任介護支援専門員	2
介護支援専門員	3
社会福祉士	1
正看護師	4
准看護師	2
管理栄養士	1
認知症介護基礎研修	10

令和 6 年度 特定技能 1 号（インドネシア）
新規採用 2 名
令和 7 年度 技能実習生 4 名➡特定技能 1 号移行

4. 行事等活動報告

本年度は通常通りの施設行事を実施。

洋品店「よしや」やローソンと提携し移動販売として自分で買い物するという楽しみの機会を提供した。

- 7月:流しそうめん
- 9月:敬老会
- 10月:秋祭り
- 12月:クリスマス会
- 1月:おとそ
- 3月:お花見



(流しそうめん)



(元旦 おとそ)



(敬老会)



(秋祭り)



(よしや訪問販売)



(ローソン移動販売)



(ひな祭りカフェ)

5. 栄養管理・食事提供等

(1) 食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

(2) 行事食の提供

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食やバイキング形式での昼食を行事食とし美味しく、また、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。



(巻きずし)



(手まり寿司・天ぷら)



(元旦 おせち)



(バイキング)



6. 各種委員会活動報告

①防災委員会

B C P (業務継続計画) の作成。随時見直しを行いながら内容追加・更新。

防災訓練後の振り返りを行い、職員の連携や動き方など委員会内で検討した。

②感染・褥瘡委員会

ユニット内での褥瘡予防対策を正確に統一できるよう、情報共有から対策までをリーダー会議内で共有するようにした。感染症流行時期に合わせた勉強会開催、シミュレーションを行い、マニュアルを周知した。

③行事委員会

季節ごとの年間行事計画に基づき、安全で楽しめる行事について話し合いを行った。

④安全対策委員会

ヒヤリハット報告の充実と活用から事故防止につなげていけることを目標とし、振り返りと共に重要性の確認を行った。

見守りセンサー活用での事故分析・検討では、居室内での転倒に関しては、前年度と比較して減少していることを確認、一定の効果があったものと考えられる。

⑤身体的拘束適正化委員会・虐待防止委員会

虐待のグレーゾーンや不適切ケアについて考える機会を持ち、ケアの見直し、改善策について共有した。

⑥給食委員会

各フロアから提案される栄養・食事に関する事項やイベント食について意見交換を行った。

7. 研修状況

<施設内研修> 外部オンライン研修含む

4 月	身体拘束研修	全職員
	認知症研修	全職員
5 月	虐待防止研修	全職員
	リスクマネジメント研修	全職員
6 月	記録の書き方	全職員
	オムツ着用に関する研修	全職員
7 月	感染症に関する研修・BCP研修（感染症）・BCP訓練（感染症）	全職員
8 月	危険予知研修	全職員
	車椅子の種類・シーティング・食事介助	全職員
9 月	B C P 研修（感染症）	全職員
	口腔ケア研修	全職員
1 0 月	看取りケア研修	全職員
1 1 月	入浴研修（基本編）	全職員
1 2 月	虐待防止研修	全職員
令和 7 年 1 月	身体拘束研修	全職員

8. 防災訓練実施状況

6月	本館	・火災発生を想定した通報、初期消火、避難誘導訓練 ・水害時想定訓練の実施。（担架の使用方法の確認など）
1 1 月	本館	・火災発生を想定した通報、初期消火、避難誘導訓練 ・水消火器による消火訓練

9. BCP（業務継続）訓練

7 月	BCP計画・訓練	地震発生時を想定し、BCP計画に基づく机上訓練
1 1 月	訓練	災害発生時におけるライフライン遮断を想定、炊き出し訓練

1 0. 介護福祉士実習生受け入れ状況

学校名	実習内容	人数
江戸川学園おおたかの森専門学校	介護	2名